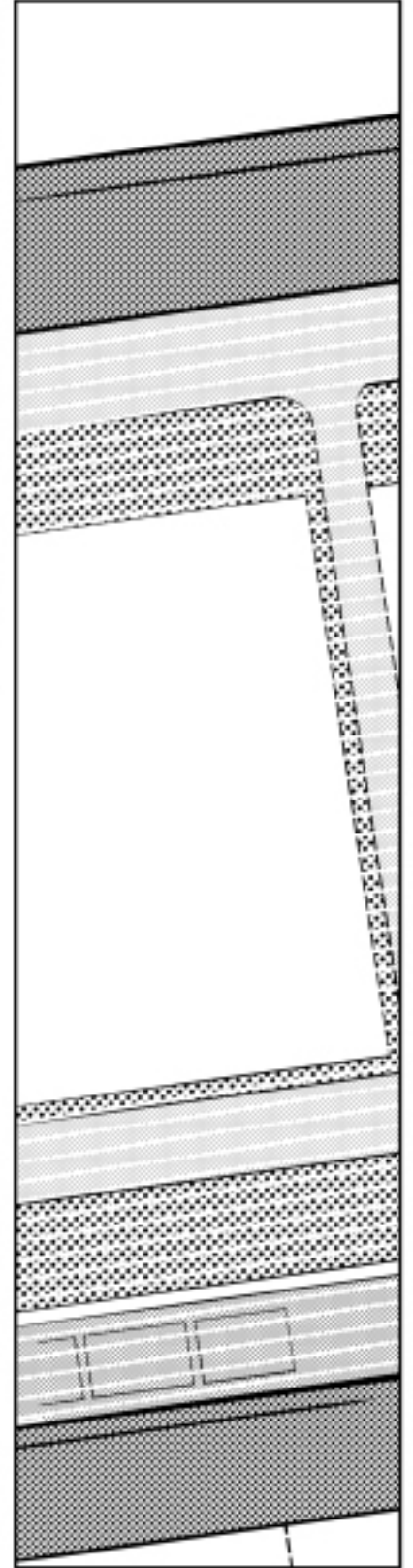
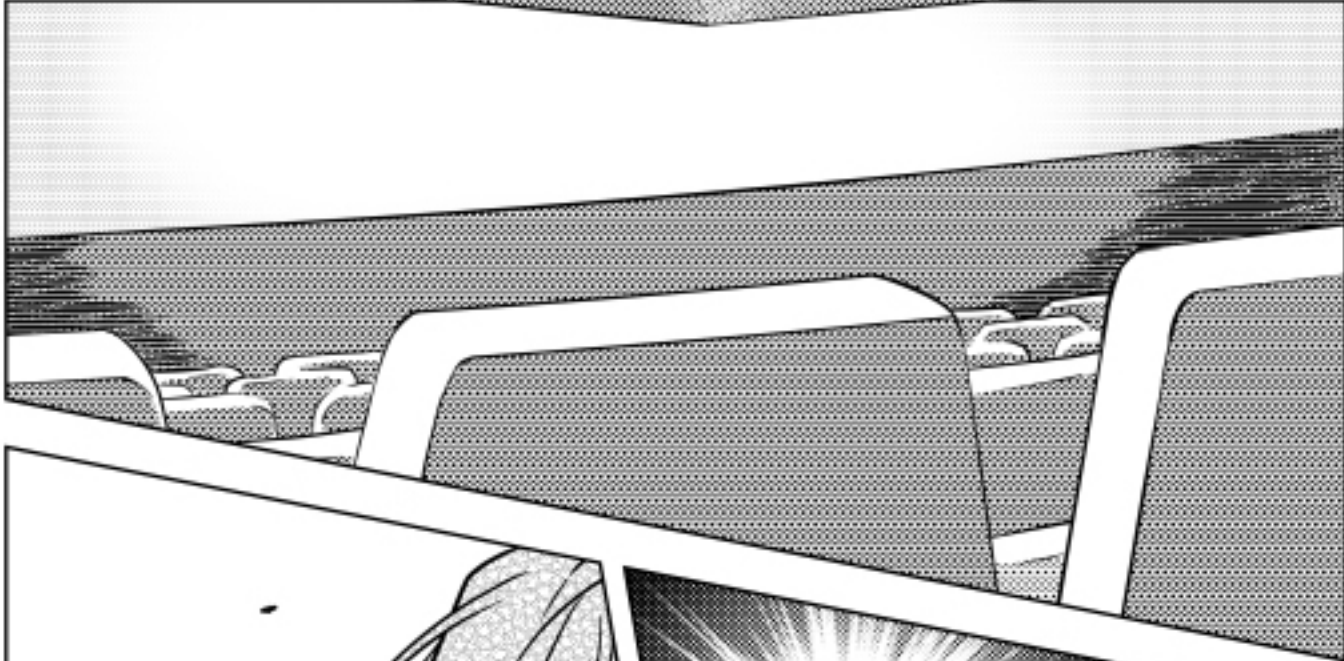


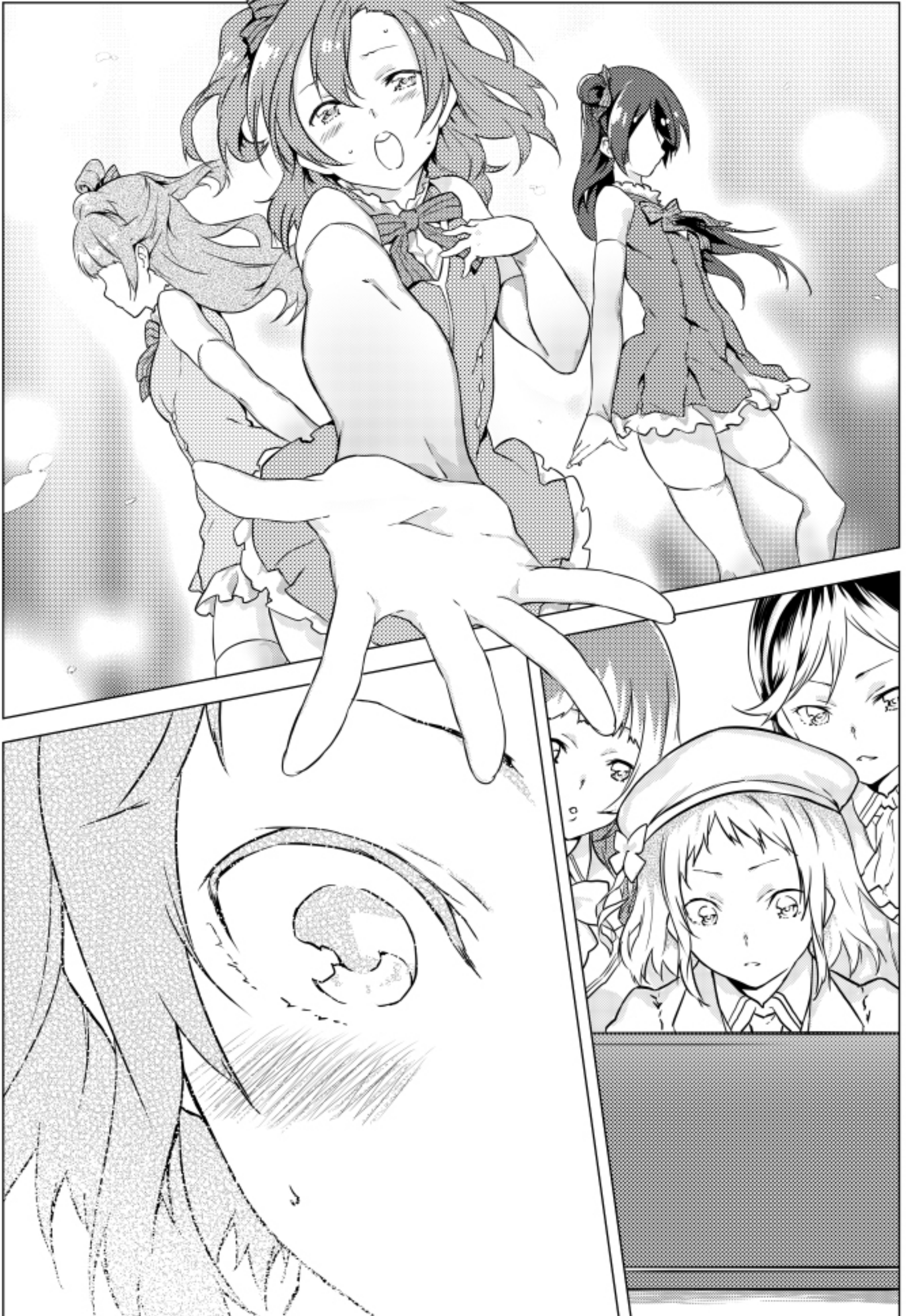


No brand girls!

ノーブランドガールズ ノット

言ってみればそれは、
一目惚れだったのだろう





ほぼ無人のステージで

それでもなお

全力で歌い

踊る

彼女達の姿に

瞬きすら忘れて

私達は
見入っていた

魅入られていた

19!

それはまだチグハグで覚束ない



雛鳥たちのライブだったけれど



スポットライトなんて必要ないくらいに



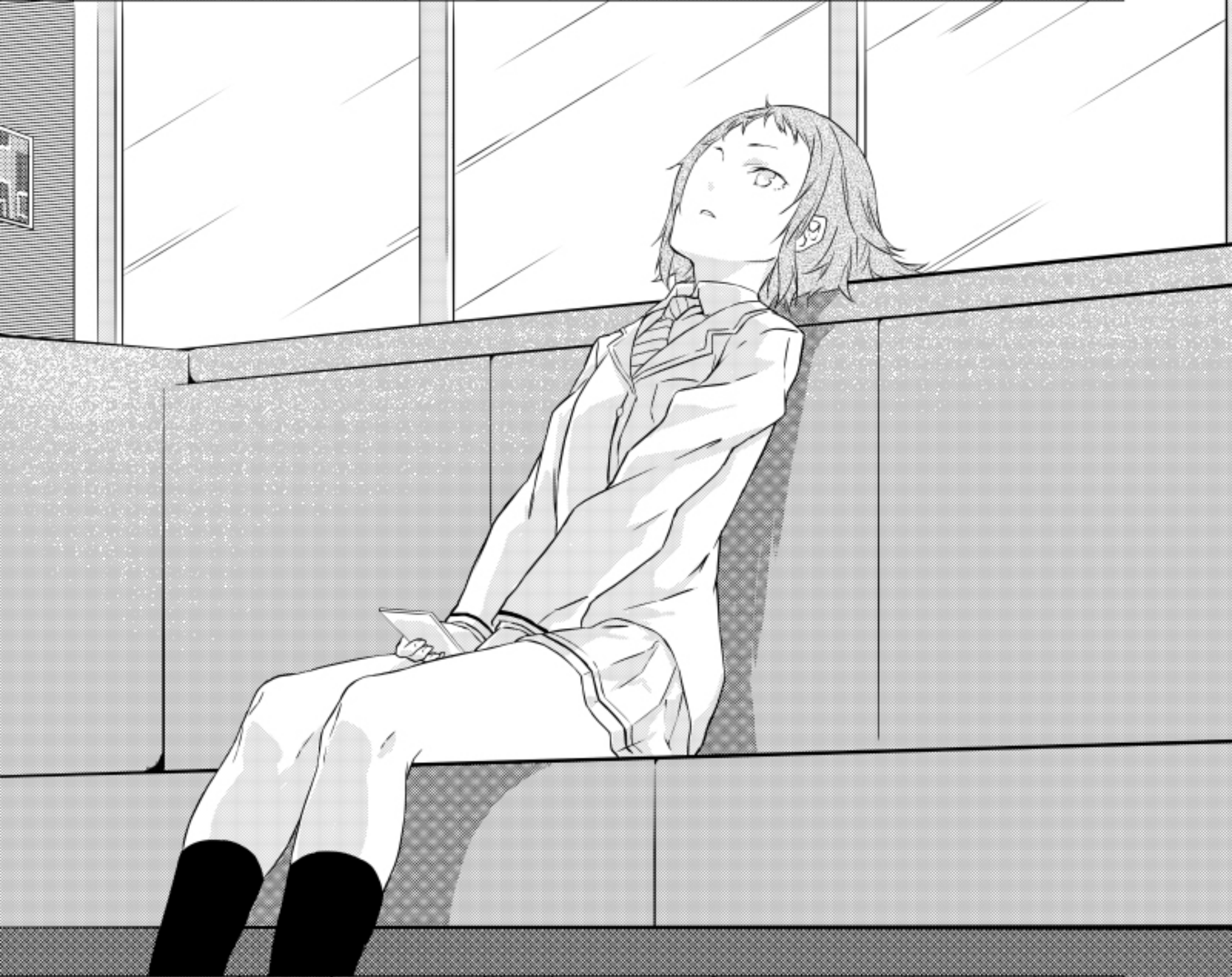
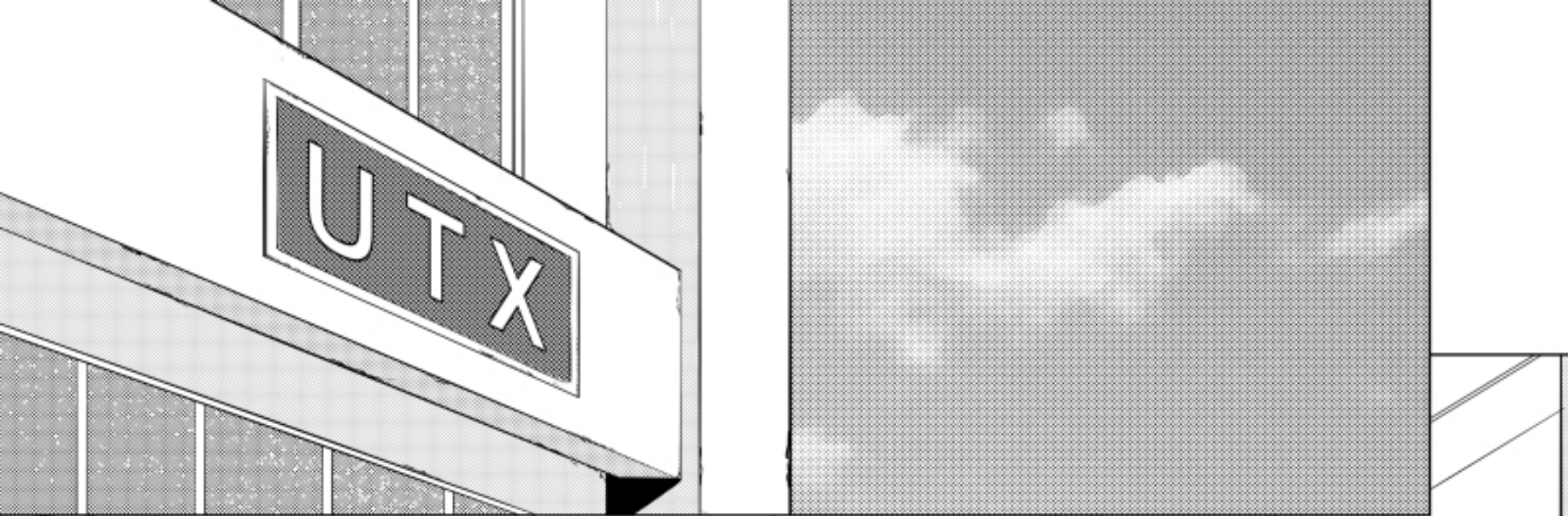
その三人は強く輝いて見えて

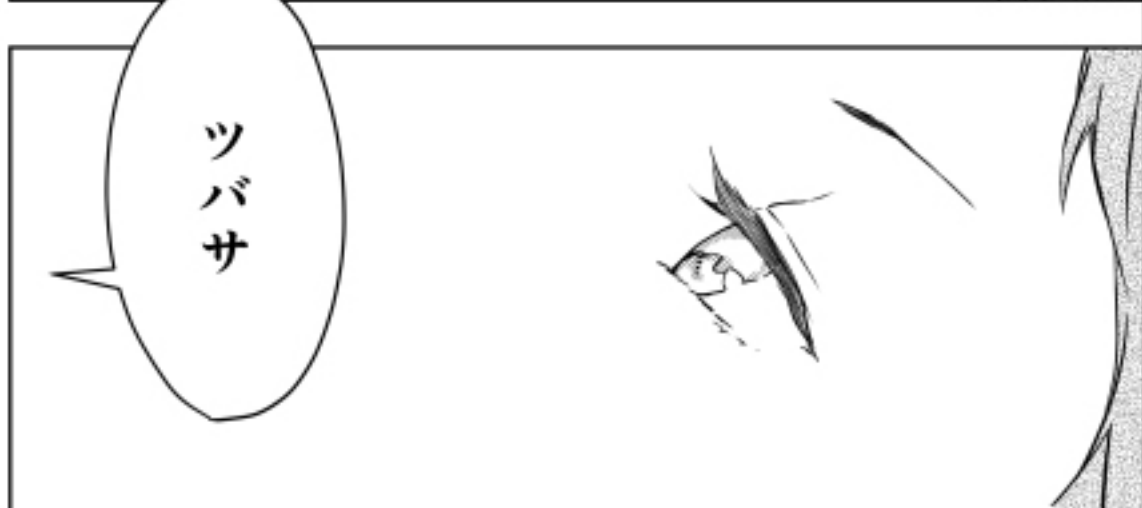
熱を宿したその眼差しに

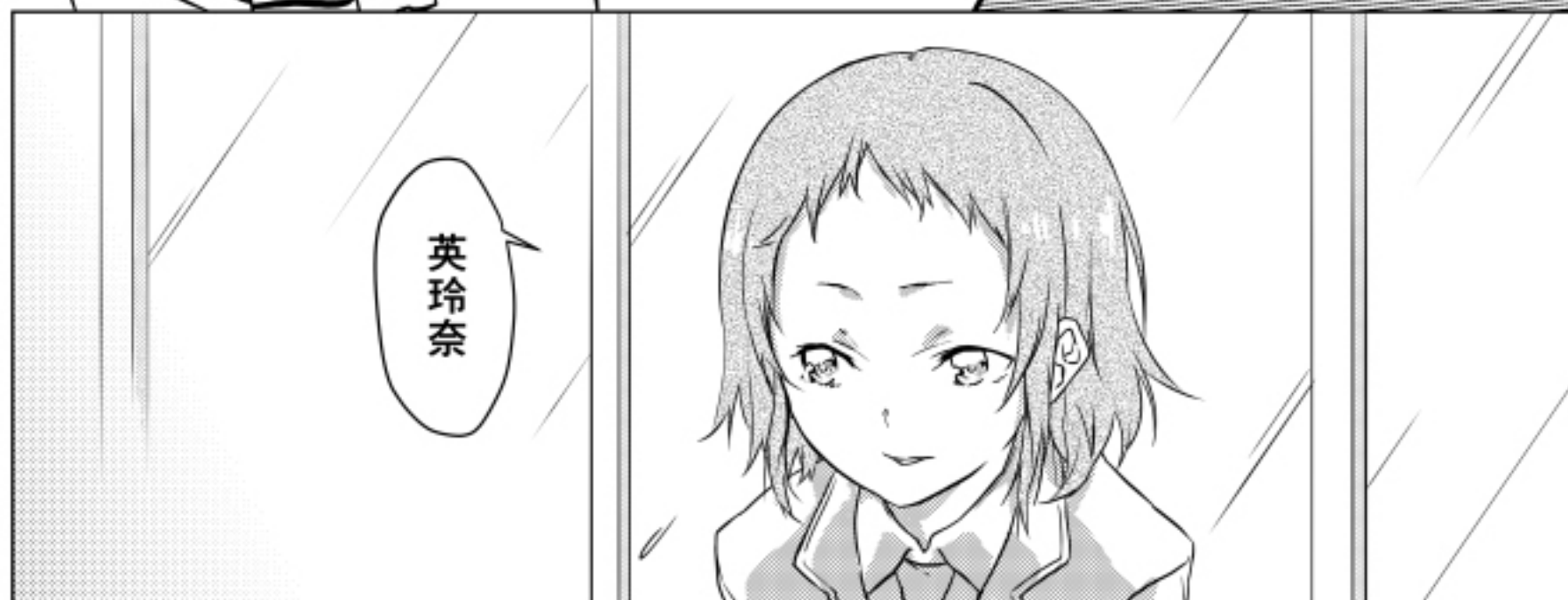
この胸は確かに
震えていたのだ――

僕を震わす
彼女^{キミ}の閃光

...Prologue END









どうにも
スッキリしていない
顔をしている

らしくない

後悔してるとか

そんなんじや
ないのよ?



ただ

分からな
いことが
ずつと引
つかかっ
てるのよ
……私
の中で



なら

直接訊
いてみる
しか
ないん
じや
ない?



言葉を選べ。

残尿感?

なんていうのかしら
この……この……

スッキリしない



エースに♥



エースが

あんじゅ……

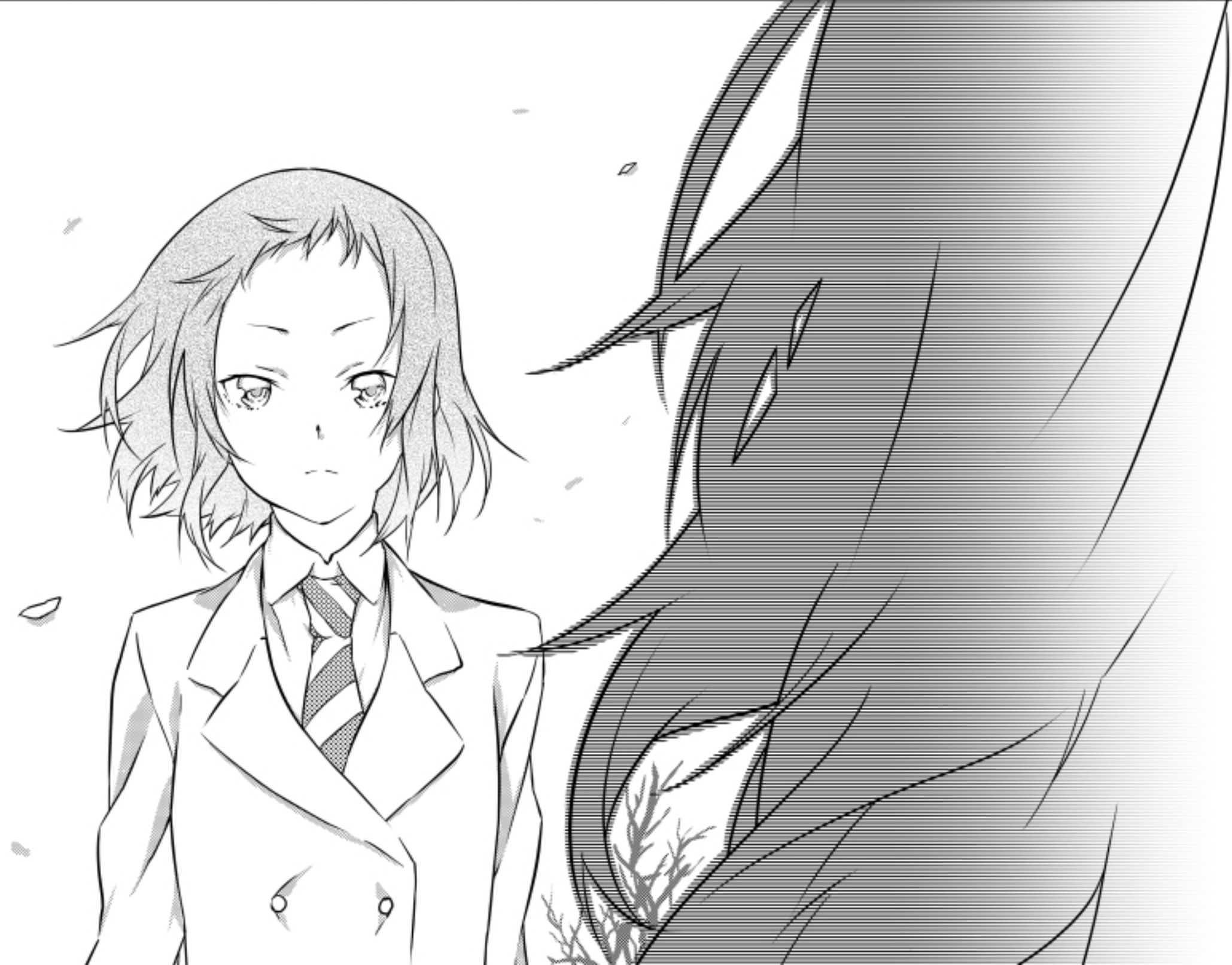


あんじゅの
言うとおりだわ



……
そうね







ツバサさん——？

話があるの



あ
ちよつと顔^{ツラ}
貸してくれない？

こっぴどくの
セリフは
えーと
えーと…

ひッ!?

Private Wars

...END

NEXT...

~~No brand girls!~~
ノーブランドガールズ ノット



私達は最終予選で
全てをぶつけて歌った

そして

潔く敗けた



そのことに何の
わだかまりもない



——そう
思っていたけれど

ずっと
引っかかっている

U's

——なんで敗けたんだろう——

確かにあの時
U'sは私達よりファン
の心を掴んでいたし

パフォーマンスも
素晴らしかった

結果が出る前に

私達は敗退を
確信した——

でも
何故それが出来たのか

努力

練習

チームワーク

それは
私達も
一緒

いえ——むしろ
私達の方が……


『誰よりも強く
在ること』

それがA-R-I-S-E
の誇り

スタイル


だから敗ける筈がない
……そう思っていた

でも
敗けた



その理由を
知りたいの！


μ'sを突き動かして
いるものって何？



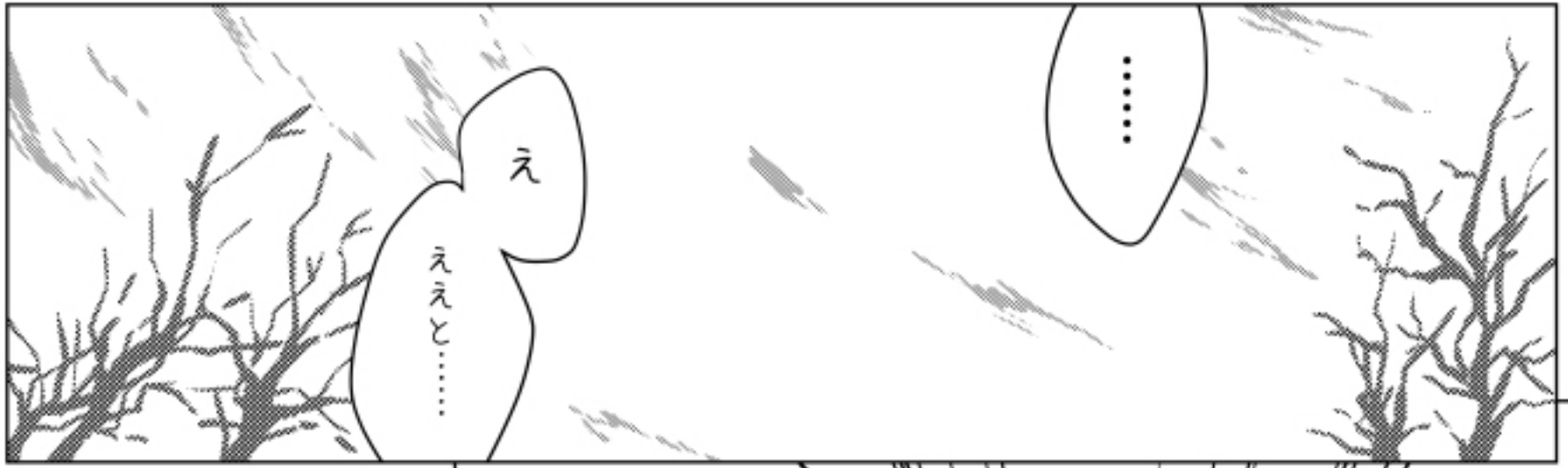
原動力となる
想い――

あなた達を
支えているもの

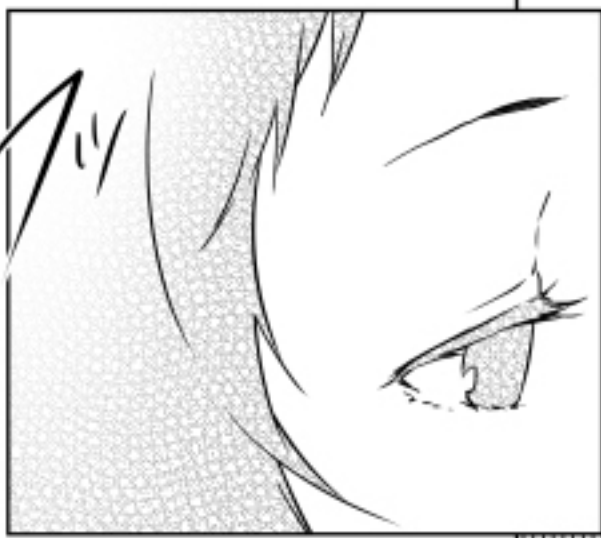
それは何なの！？



それを聞いて
おきたくて



私……よく
分かんなくて!

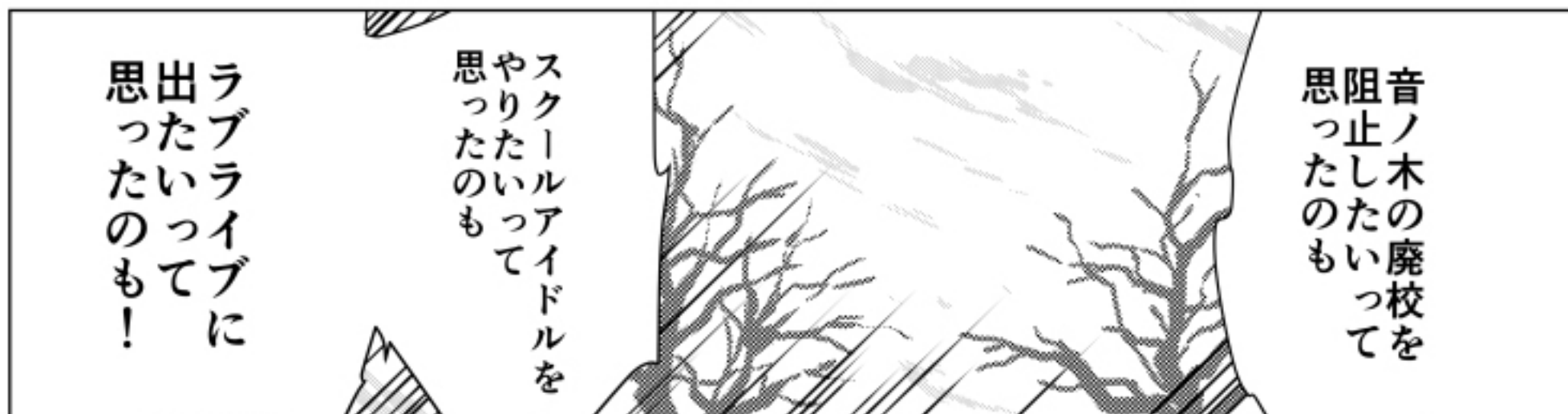
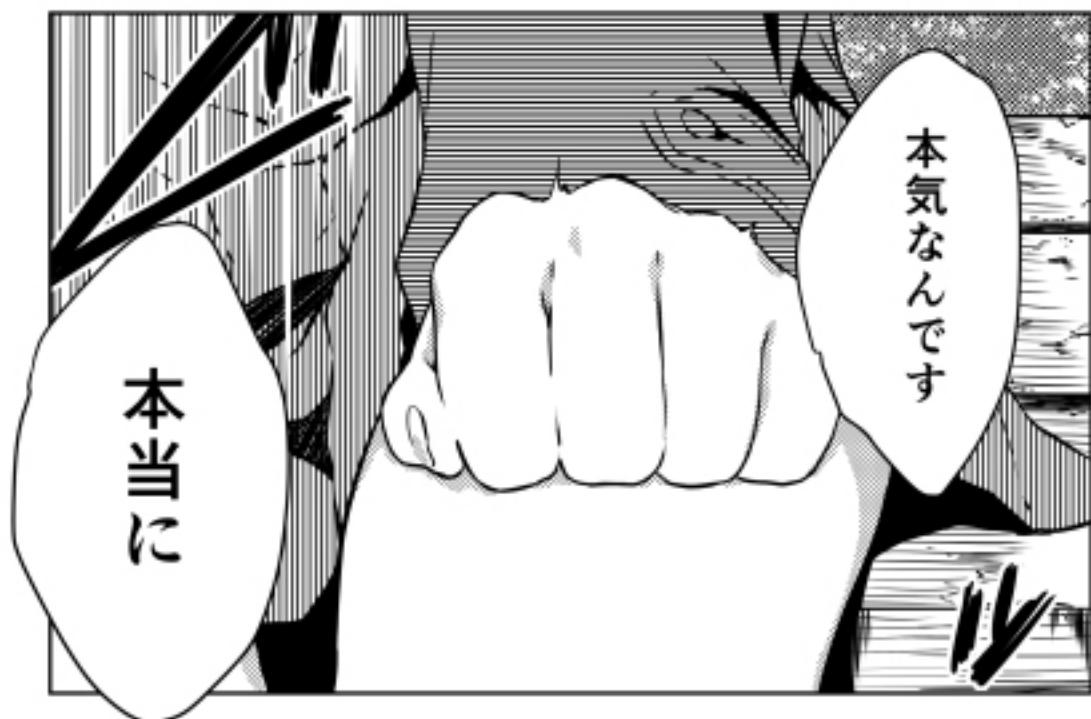



ごめんなさい



……っ私

!






仲間が増えて

友達が
助けてくれて

たくさんの人と
つながって――



夢が夢じゃ
なくなつて



それは誰か
ひとりの力か
なんかじゃない

みん・なで
ひとつになつて
やっつけてきたからで
.....



ごめんなさい！

私やっぱり
勢いだけで
喋っちゃって！
意味わかんない
ですよ！

あああか

そんなこと
ないわよ



ちゃんとして
伝わってる

あなたの気持ち

——そう

彼女は必死に伝えてる

ほっ…

いつも

どんなときも ずっと

痛いくらいに伝わってくる

等身大の想い

何も着飾っていない

それがμ'sの武器

なのだとしたら

それはA·R·I·S·Eには無いもので――



ねえ
穂乃果さん

は
はいっ



え

えっと……



あなたから見て
AIRISEは
どうだった？



AIRISEは――

強くて
可愛くて
格好良くて

なんかもう
「アロー」って
感じで

とにかく
すごくて……



きつと敵とどかわないなって
思っちやうくらい
すごく……すごく

憧れです

——
ああ



やっぱり
そうなのか



憧れとはつまり

決して
手の届かない

幻だ

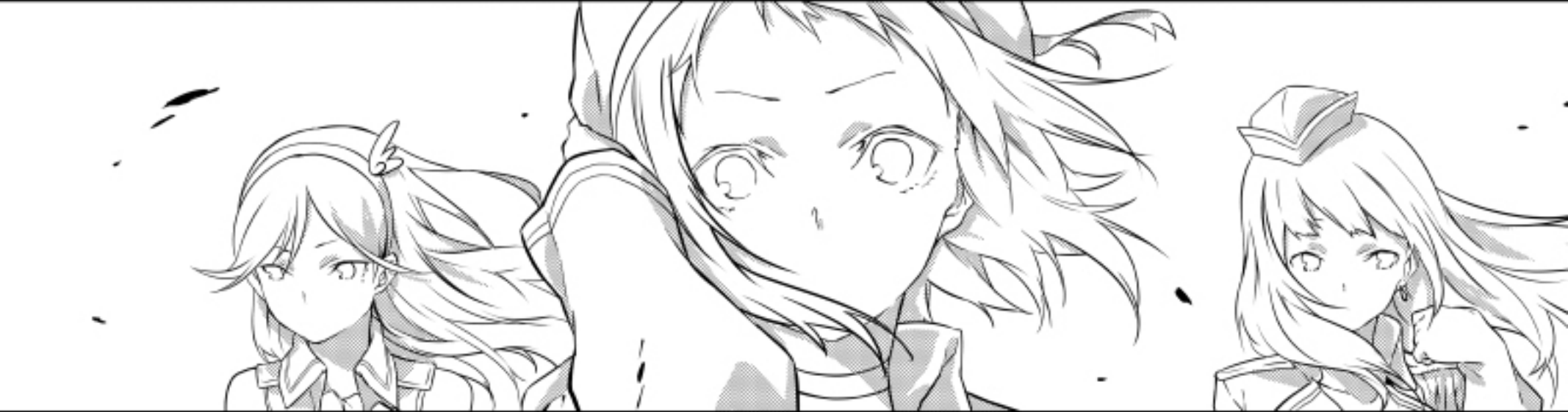
遠い存在

「唯一無二」

「他の追隨を許さず
誰よりも強く在ること」

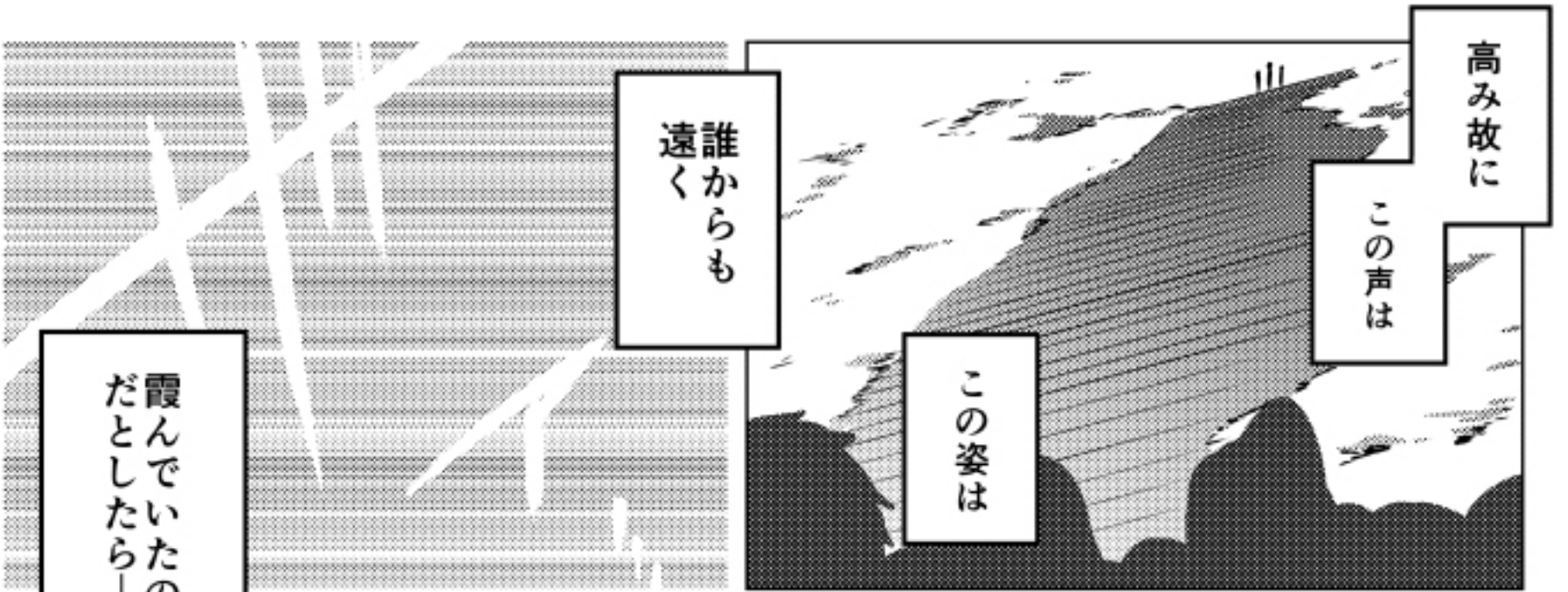
それは紛れも無く
私達が望んだ姿

けれど――



A - R I S E そこ
私達三人だけで登り詰めた先には

A - R I S E
私達三人しか存在しなくて



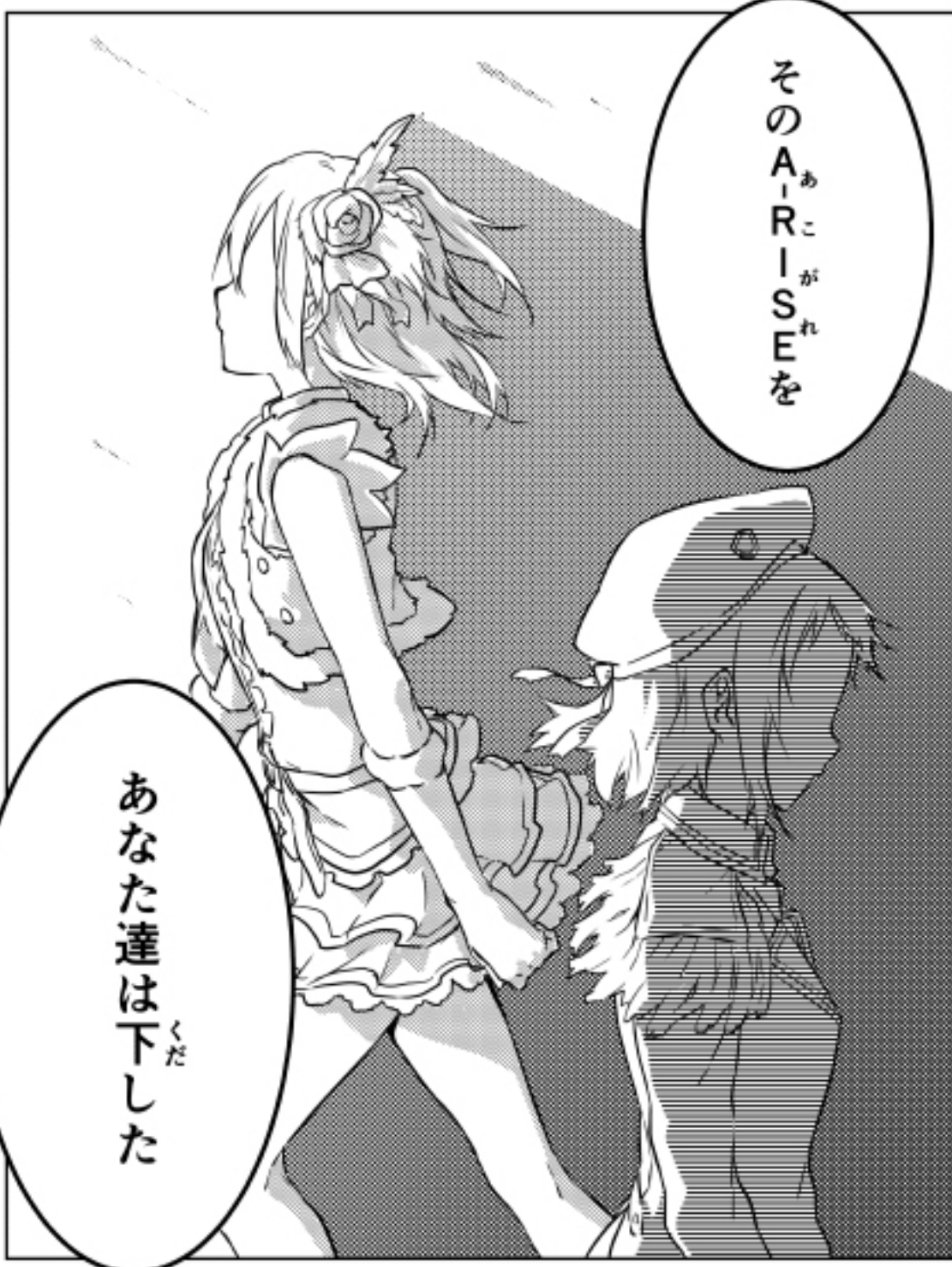
高み故に

この声は

この姿は

誰からも
遠く

霞んでいたの
だとしたら――



そのAあRこIがSれEをを

あなた達は下くだした



穂乃果さん

私達よりも
高みにいる

あなた達は今や

μ'sももうとっくに
無銘では通らない

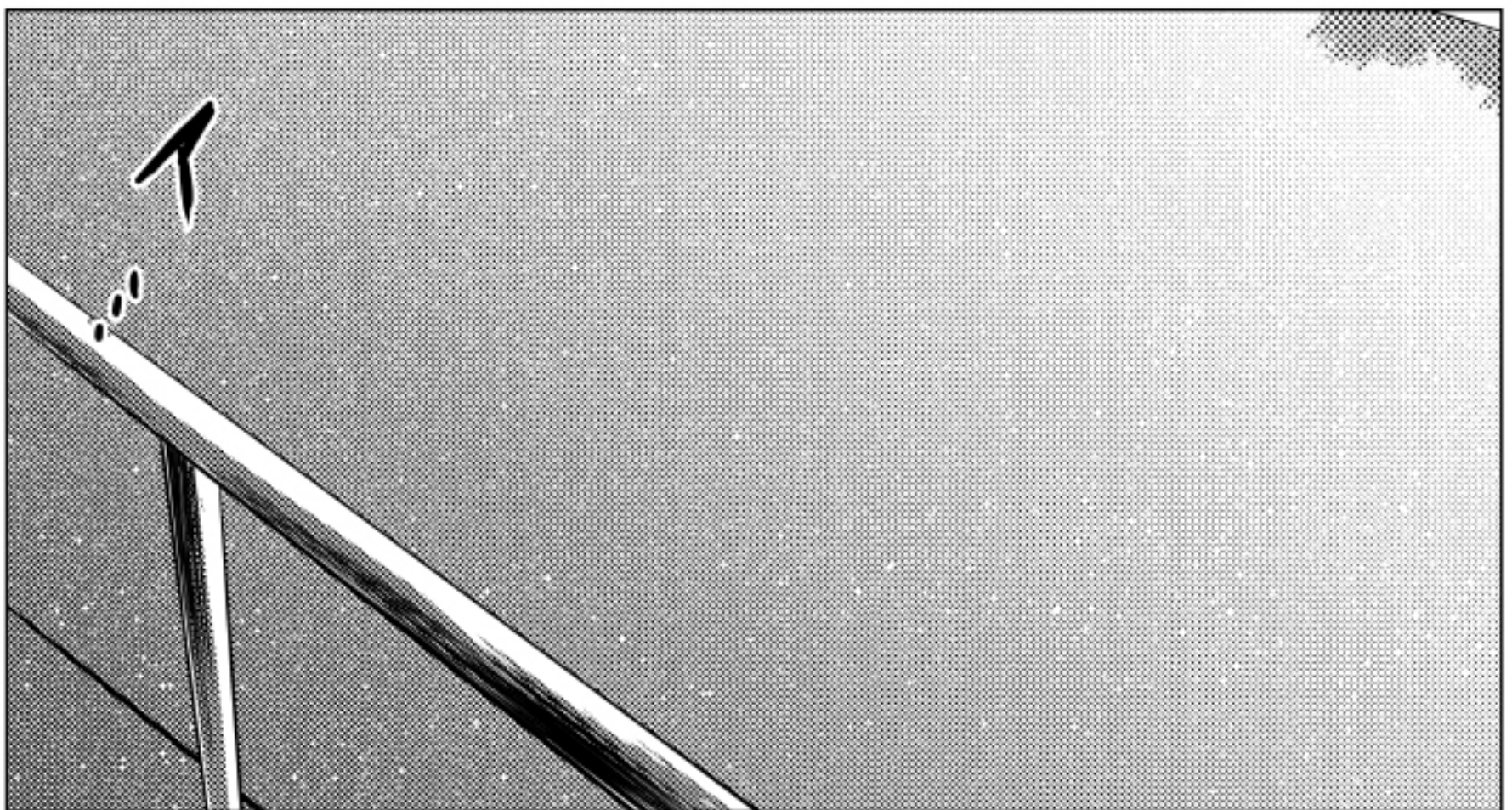
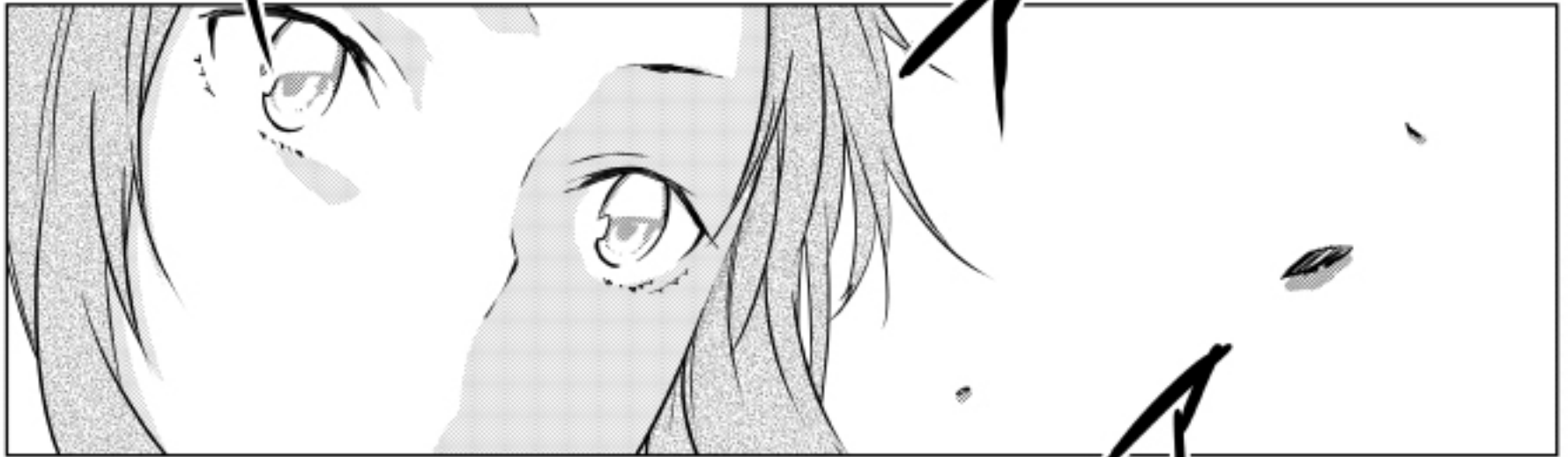
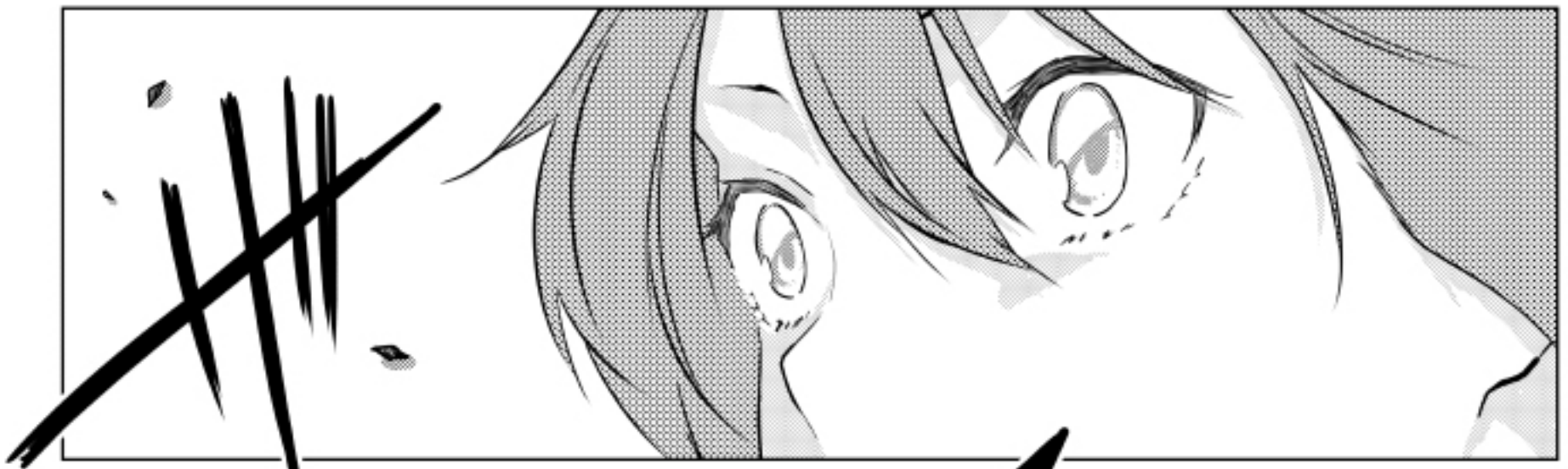
周りとは
立っている
場所が
違ふのよ

遠ざかっていく

どんどん



その時あなたは
どうするの？





でも



私やっぱり

難しいことは
よく分かんなくて



—ごめんなさい



今までも

これからも




私たちのやることは
変わりません




届けます

この想いを



伝えます

この熱さを



みんなと
立ってる場所が
違うなら――

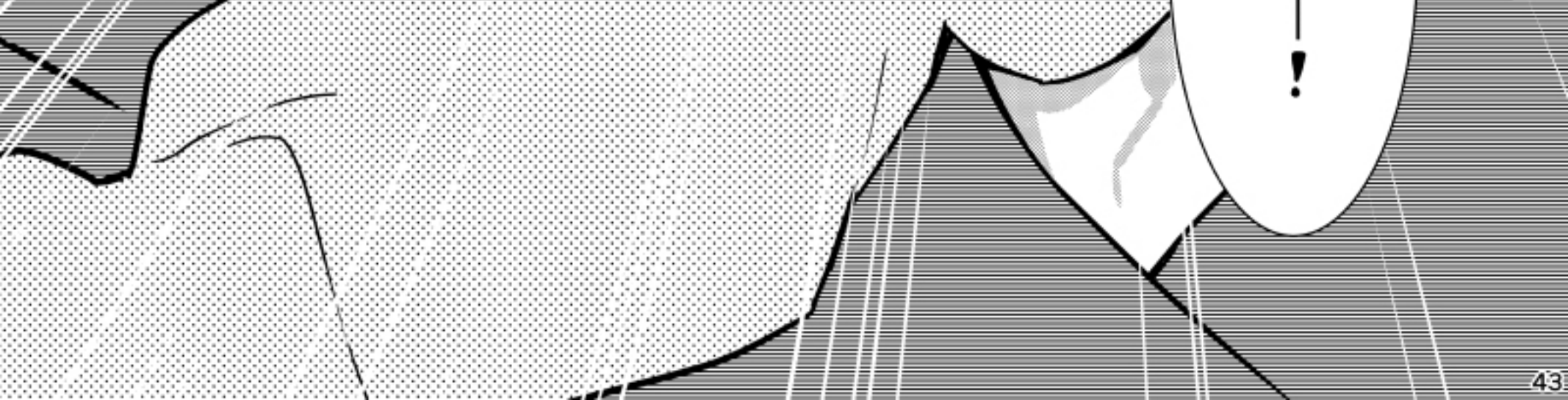




そこまで行く
いきまわす!



!





—
ああ



この子は
本当に

やっ
てしま
え
る
ん
だ
ら
う
な
あ



上
に
登
り
詰
め
る
の
で
は
な
く

輪
を
広
げ
て
い
く
の
か

そ
う
か

μ's
は



わたしたち
AIRISE
の敗因

μ's
の原動力

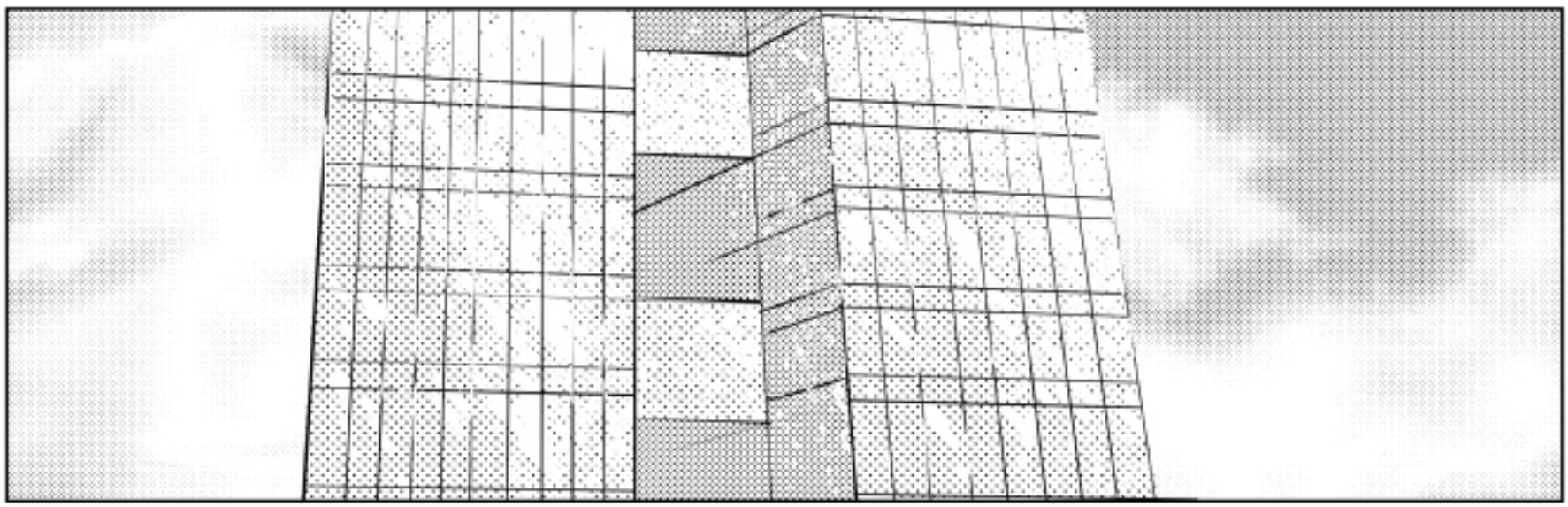


だとしたら

それは

何と言ひ表されるべきだろうか

求めていた答えまで あと一步——

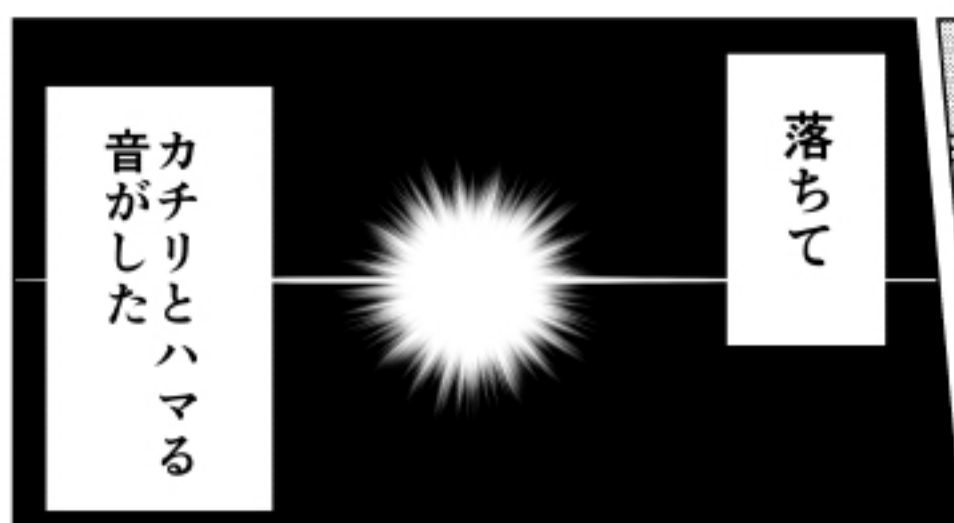


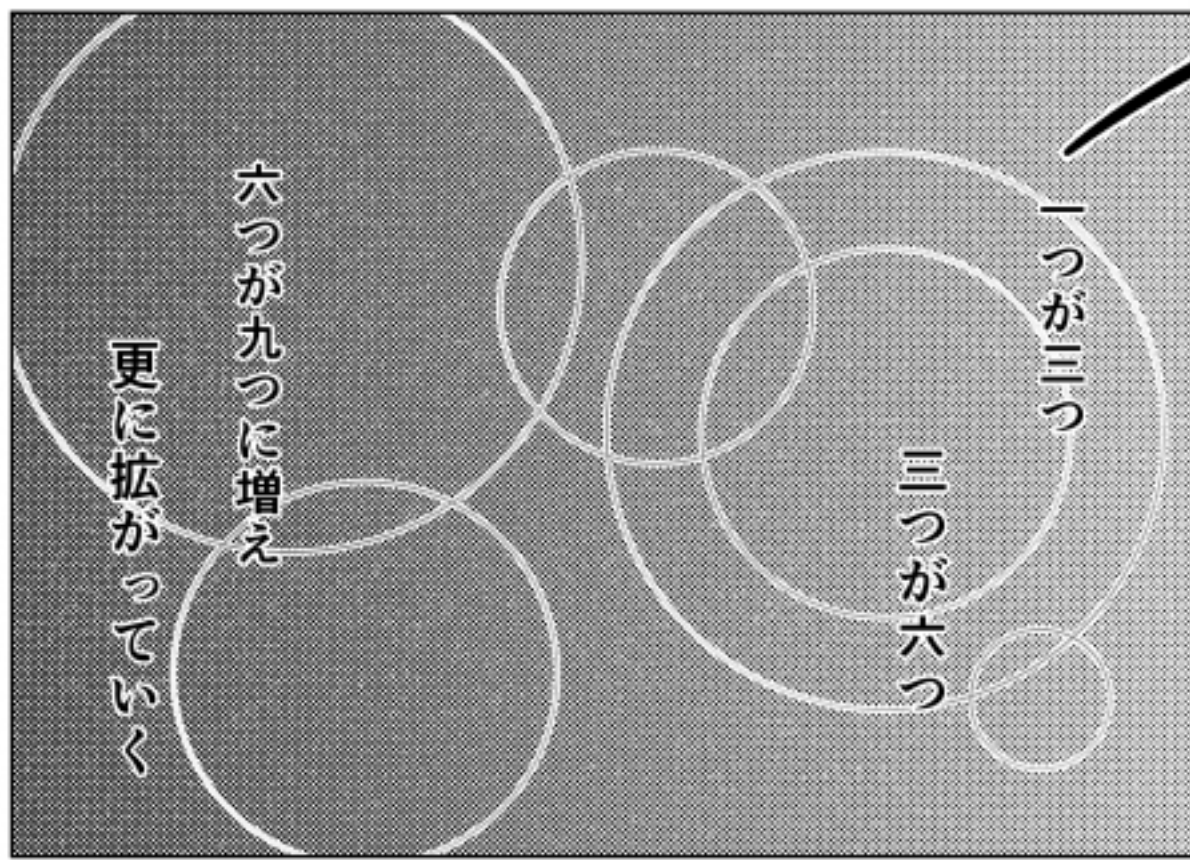


—だから私は

る物語
で叶え
みんなで

みんなで叶える物語





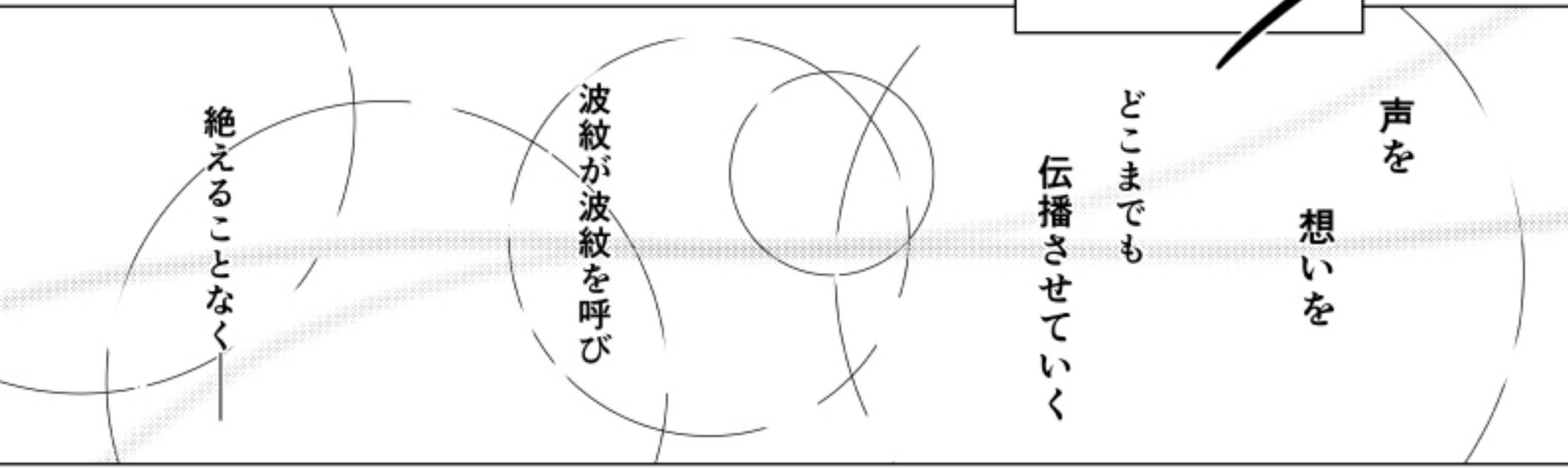
六つが九つに増え
更に広がっていく

一つが三つ
三つが六つ



それは波紋だ

...



絶えることなく

波紋が波紋を呼び

どこまでも
伝播させていく

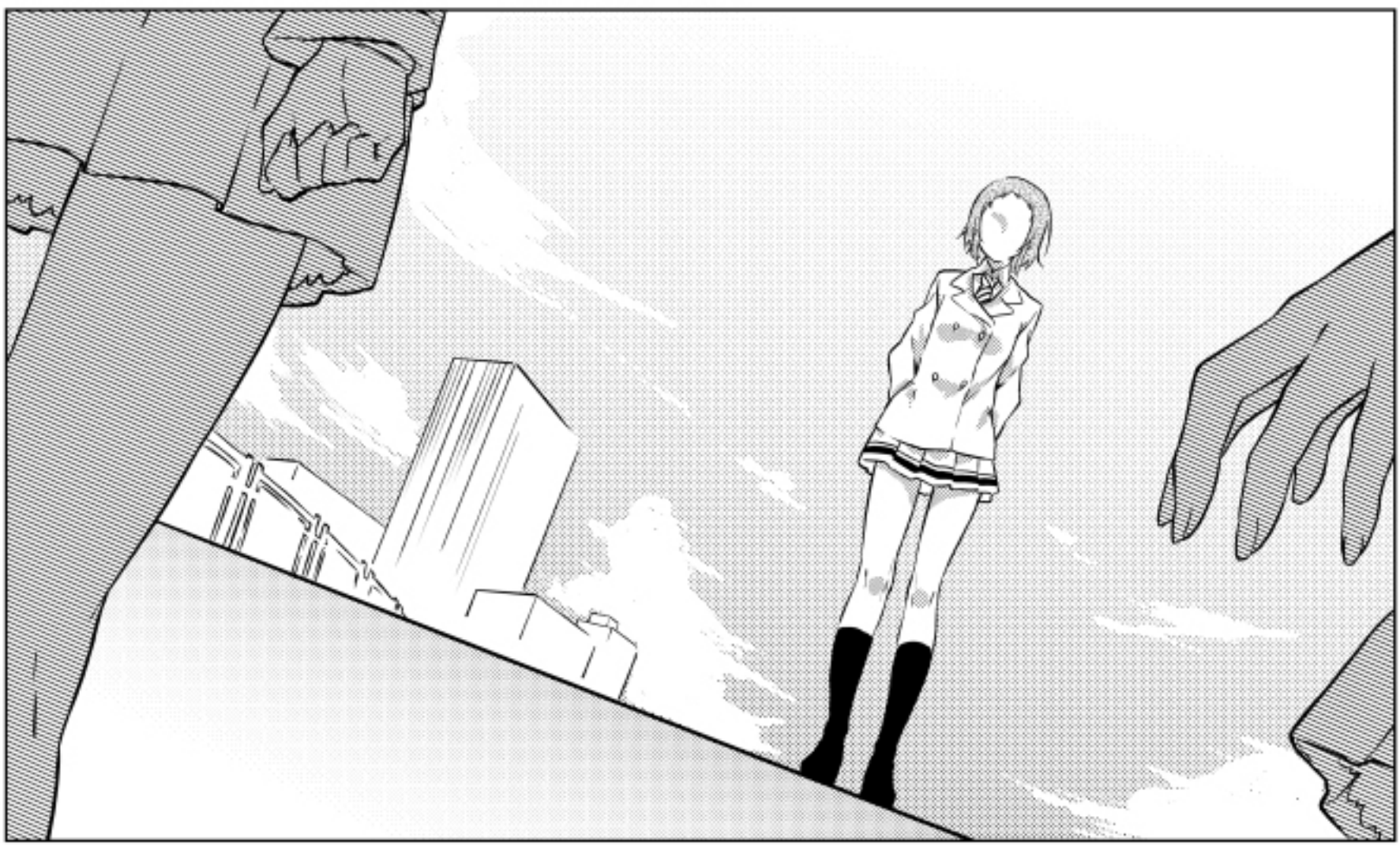
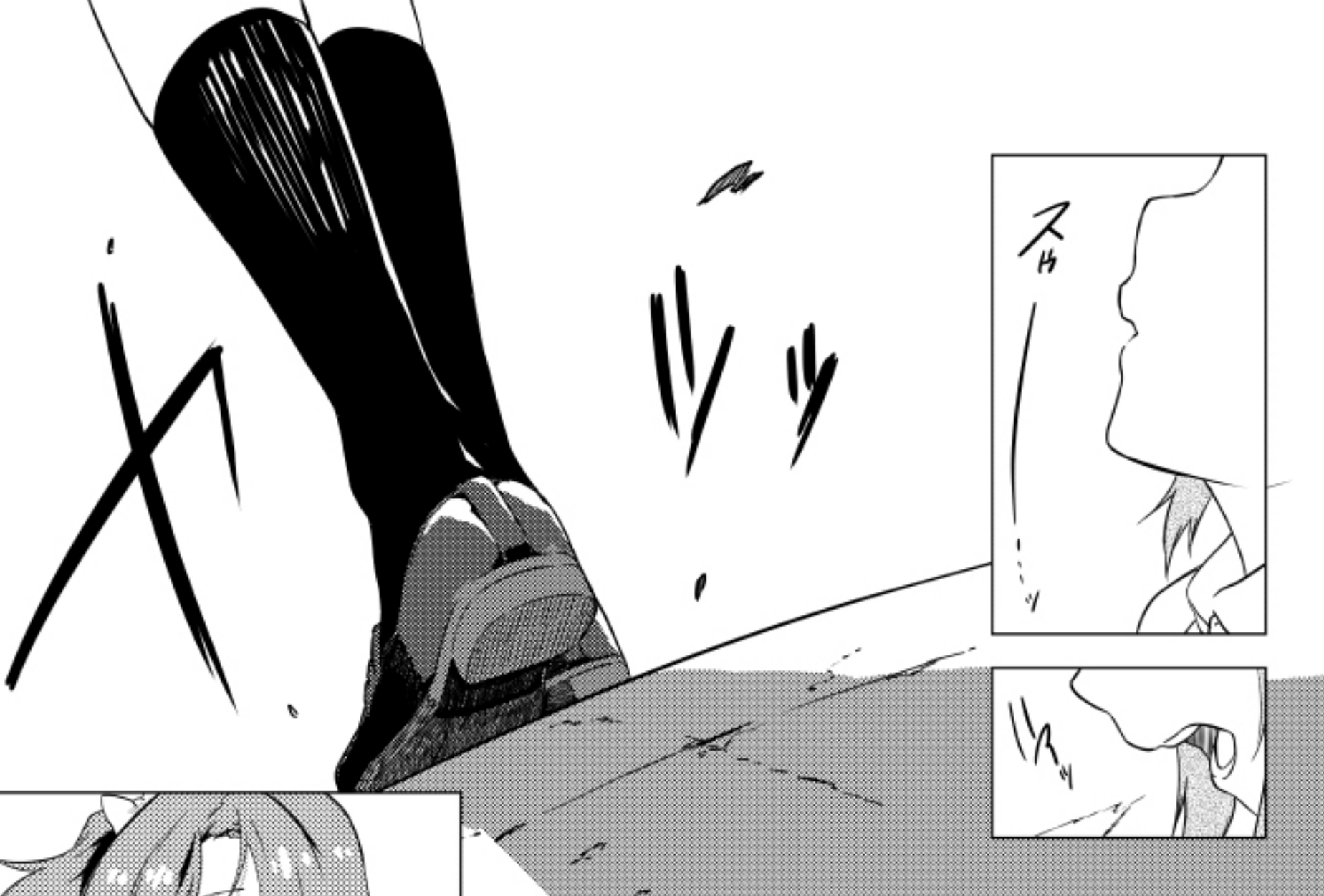
声を
想いを



みんなと

舞台の上も下も
関係なく

そうして彼女たちは
つながったのか

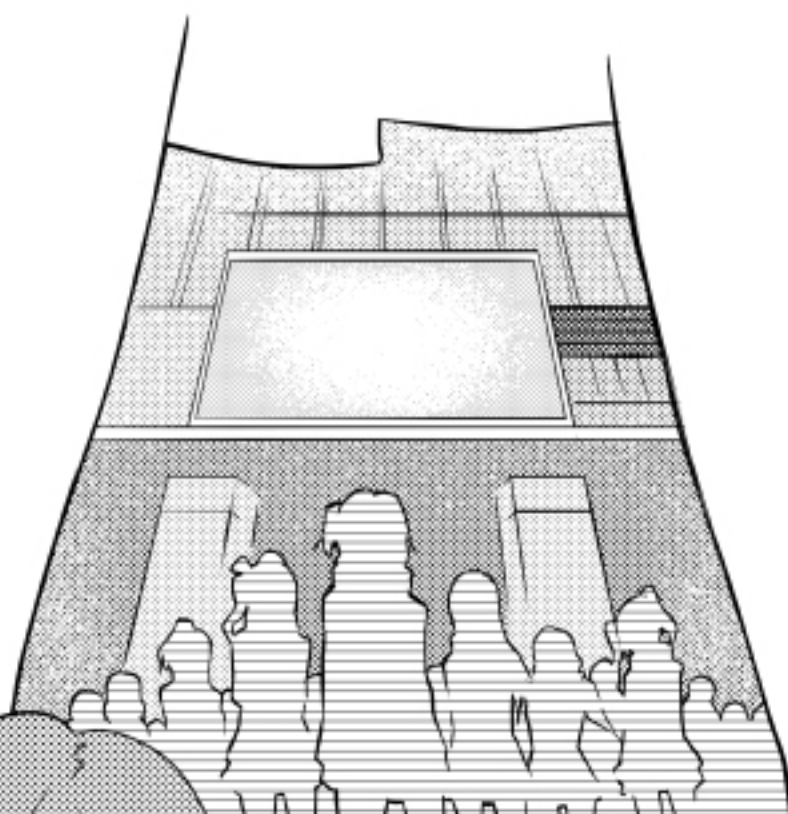




よく分かったわ



ツバサさん……



全部

つながった



答えを
ありがとう



これで

また



A^わ・R^たI^しS^たE^ちも
動き出せる



だから

まずは見せて
もらおうわ

私達が見た景色
とはまた違う

新しい場所を
セカイ



さっしやいね

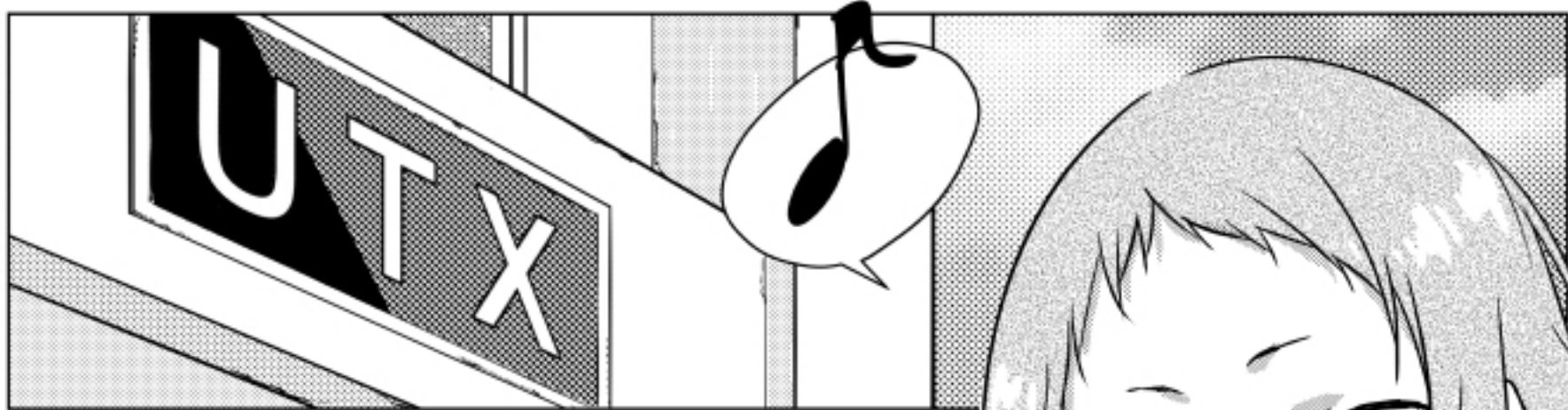


— 450 —



のぶらんどがーるののつ
どじっだん
「サニ...ティ」
← ぬくすと...





ツバサ……!?
その荷物は――



ああ
英玲奈

見て見て！
重かったのよ

コレ全部

μ'sのラブライブ決勝
応援グッズ！



あの子たちならきつと
とんでもないものを
見せてくれるハズ――

それを全力で
応援したいの！

ガチ
全力すぎる





穂乃果さんの熱意に
当てられたみたい

「応援しなきゃ」
「応援したい」って

これまでよりも
ずっと強く
そう思わされてる



これが彼女たちの
勝利みりよくなのね

お蔭で今月分の
部費が全部コレに
消えちゃった♥

参ったものだわ

オッ

お茶目も流石に
度が過ぎる!!

こればっかりは
見過ごせないわ!

ちよ

ちよっと
待って
二人とも

今ののは
たのしい
だヨ
かーク

スクールアイドルとしての
意識の高さを保つ為

これまでプライベートでは
あまり話さなかった
この三人が

あの一件を通じて

自然な姿につながった
ような気がした

そんなアキバの一角

あーあーあー
脱げ。脱げ。
はっはっはっ
あーあーあー

あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー

あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー

叶え
みんなの夢

~~No brand girls!~~

ノーブランドガールズ ノット